

公益財団法人小山台教育財団 2024 年度事業報告 (2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

2024 年度は、経済・社会活動が新型コロナウイルス感染拡大前に戻ったことを踏まえ、当財団の各事業も感染拡大以前の状態に回帰した。2024 年度における具体的な事業別実施状況は以下の通り。

I. 国際交流事業（公益目的事業）

国際交流を通じて青少年の国際相互理解教育および異文化体験を行うとともに、真に日本を理解する能力を育てるための海外体験派遣、交換交流派遣および海外チャレンジ支援を実施している。2024 年度は、英国および台湾への海外渡航とともにドイツからの受入を実施した。

1. 海外体験派遣

対象となる大学生・高校生を英国ボーンマス市に派遣し、ホームステイをしながらキングス・カレッジで世界各国の青少年とともに語学研修を受講するプログラム。本年度は、高校 1 年生はエクスペリエンス・コース、高校 2 年生以上はインテンシブ・コースの研修を受講した。財団が指名した大学生リーダー 2 名が同行し、財団が指定した添乗員と連携して、現地における取りまとめ役として派遣生の相談や安全確保に努めた。

- (1) 参加者：品川区立都立高等学校（小山台、大崎、八潮）の生徒およびその卒業生である大学生計 22 名（含リーダー 2 名）
- (2) 活動期間：2024 年 5 月～9 月（派遣期間：7 月 27 日～8 月 20 日）

2. ドイツ交換交流派遣

ドイツ・ベルリン市の私立カニジウスコレク・ギムナジウム校との連携により、対象となる学生のドイツ派遣とドイツ側学生の日本受入とを原則として隔年で行っている。2024 年度はドイツ側学生の日本受入の年にあたり、前年度のドイツ派遣に参加した日本側学生の家庭が、ホストファミリーとしてドイツ側学生を受け入れ、剣道・茶道等のクラブ活動体験および日本の史跡・名所の視察・訪問等を通じて、日独学生の相互理解・国際交流を推進した。

- (1) 参加者：ドイツ側学生 9 名および引率者 1 名、計 10 名
- (2) 期間：2024 年 8 月 7 日～27 日

3. 台湾交換交流派遣

日本側学生を台湾の大学に派遣し、台湾側学生と一緒に大学における講義および体験学習を受講し、現地の歴史・文化に触れるとともに国際交流を推進するプログラム。当年度は台湾台北市所在の東呉大学に加えて台湾嘉義県所在の中正大学とも国際交流活動を行った。

- (1) 参加者：品川区立都立高等学校を卒業した大学生 10 名（含リーダー 1 名）

(2) 活動期間：2024 年 11 月～2025 年 3 月（派遣期間：2025 年 3 月 7 日～17 日）

4. 海外チャレンジ支援

海外における留学・研修・専門的研究・インターンシップ・ボランティア・芸術・スポーツ等の活動を通じて、国際的視野に立脚した教育機会ないし目的達成のための研鑽に必要となる費用の一部を助成するプログラム。助成対象者は品川区内都立高等学校を卒業した大学生。

(1) 長期留学助成受給者：2 名

留学先：Abo Akademi University（フィンランド）、Coimbra University（ポルトガル）各 1 名

(2) 多様性キャリア開発助成受給者：該当者なし

II. 奨学育英事業

1. 品川区内都立高等学校向け奨学育英事業（公益目的事業）

品川区内都立高等学校に在籍する就学意欲のある有為な生徒で、経済的理由で学業が困難なものに対して奨学金の給付を実施した。

(1) 一般奨学金（25 名）

① 対象：高校 2 年生以上の生徒

② 給付額：6 月から翌年 3 月まで月額 1 万 5 千円（1 人、年間 15 万円）

(2) 臨時奨学金（4 名）

① 対象：高校 1 年生もしくは家庭状況の急変等で緊急に援助が必要になった生徒

② 給付額：10 月から翌年 2 月まで月額 1 万 5 千円（1 人、年間 7 万 5 千円）

2. 都立千歳丘高校向け奨学育英事業（相互扶助等事業）

都立千歳丘高校関連財団丘和会から当財団が受領した寄付金を原資として、千歳丘高校生徒に対する育英奨学金として特別奨学金を支給するものであり、下記給付を実施した。

(1) 特別奨学金（1 名）

① 対象：千歳丘高校生徒

② 給付額：1 人あたり年間 10 万円

III. 社会教育事業（公益目的事業）

社会公共の教育および文化の発展に寄与するため、地域住民等に対する生涯学習の推進および文化の向上に関する事業を実施した。

1. 公開文化講座

地域住民等を対象として、公開文化講座を開催した。

(1) 募集対象：主として品川区、大田区、目黒区の住民

(2) 開催実績：6回

(3) 講座内容：文化、健康、音楽等をテーマとする講座およびコンサート

2. ランチタイムコンサート

地域住民等一般聴衆を対象として、音楽を通じた憩いの場を提供することを目的として開催した。

(1) 参加対象：品川区、大田区、目黒区の住民・職域を中心とする一般向け

(2) 開催実績：9回

(3) コンサート内容：声楽、チェロ、ピアノ

3. 寺子屋小山台

企業の第一線で活躍するビジネスマンを対象として、日本社会の中核を担う人材を育成するためのリーダー養成講座を開催した。

(1) 募集対象：品川区内都立高等学校の卒業生を中心とする社会人

(2) 開催実績：9回

(3) 講座内容：政治・経済・国際関係等をテーマとする講義および討論

4. 中学校のクラブ活動の支援

東京都立小山台高等学校が中学校の課外クラブを対象として行う、技術等の向上のための講習会の開催を支援した。

(1) 受講対象：品川区、大田区、目黒区の中学校課外クラブ部員

(2) 開催実績：4回

(3) 活動内容：小山台高等学校と協議して実施

5. 暮らしに役立つ講座

社会保険労務士、行政書士、税理士を講師として、日々の生活に役立つテーマを取り上げて解説講座を開催した。

(1) 募集対象：品川区内都立高等学校生徒の保護者ならびに近隣住民

(2) 開催実績：3回

(3) 講座内容：暮らしに役立つ所得税の話、遺言書・相続・社会保障の話

IV. 学校教育事業（相互扶助等事業）

都立小山台高等学校の教育環境の整備を図ること並びに小山台高等学校生徒の健全な心身の育成を増進するために、小山台高等学校に対し下記支援活動を実施した。

1. 進路指導・学力向上助成

2. 学校行事・班活動補助（含コロナ対策支援）

3. 学校広報助成

4. 定時制助成

V. 海外派遣者ネットワーク事業（相互扶助等事業）

当財団が実施する国際交流事業に参加した海外派遣経験者を主体とする会員組織を通じて、これら派遣経験者間の相互交流・海外からの交換経験者との交流等の活動を実施した。

1. 国際的相互交流活動

来日外国人、在日外国人との交流活動および海外とのオンライン交流・・・開催実績：該当なし

2. 会員ならびに学生との相互交流活動

会員相互ならびに会員と当財団の国際交流における海外体験・交換交流派遣生ないし参加経験をもつ学生との交流活動・・・開催実績：4回

3. 会員及び当財団役職員等への情報提供

該当なし。

VI. 会館運営事業（相互扶助等事業）

小山台会館の会議室・ホールを、財団内の打合せに加えて教育・福祉・文化の向上等に資する会議・会合・懇親の会場として運営した。また、会館運営事業の在り方見直しおよび会館利用率向上に向けた対応策・改善策を取りまとめた。

年間利用実績：2,499件

VII. 財務

1. 有価証券

2024年度償還期限到来債券15億円について、資産運用規程に定める基準に従い、債券入替売買9億円および上場投資信託（ETF）6億円の買付を実施した。2024年度末の保有有価証券は債券57億円、上場投資信託（ETF）7億円。

2. 寄附金

当財団の事業の更なる発展を期して、次世代を担う高校生・大学生の育成を主眼とする特定寄附金および使途の指定のない一般寄附金の募集を実施。多数の方々からの寄附金が寄せられ、当財団事業を支える財務基盤の強化に貢献した。

以上

2024 年度事業報告の附属明細表
(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

I. 国際交流事業

1. 海外体験派遣：22 名（渡航実施）

	男子	女子	合 計
高校生	5	10	15
大学生	4	3	7
合 計	9	13	22

2. ドイツ交換交流受入：9 名

	男子	女子	合 計
高校生	1	7	8
大学生	1	0	1
合 計	2	7	9

3. 台湾交換交流派遣：10 名（渡航実施）

	男子	女子	合 計
大学生	4	6	10
合 計	4	6	10

4. 海外チャレンジ支援：2 名

区分	男子	女子	合 計
長期留学	0	2	2
多様性キャリア開発	0	0	0
合 計	0	2	2

II. 奨学育英事業

1. 一般奨学金：25 名

高校	男子	女子	合 計
小山台	4	1	5
大崎	8	10	18
八潮	0	2	2
合 計	12	13	25

2. 臨時奨学金：4名

高校	男子	女子	合 計
小山台	0	2	2
大崎	0	1	1
八潮	0	1	1
合 計	0	4	4

3. 特別奨学金：1名

高校	男子	女子	合計
千歳丘	0	1	1

III. 社会教育事業

1. 公開文化講座（場所：小山台会館）

講師	題目	来場 者数 会場	来場 者数 WEB	来場 者数 合計
小泉 悠	ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障	52	7	59
石井 斉	子供のスポーツ傷害と中高年の関節の痛みを考える	22	22	44
竹元 正美	皇室のお話	50	11	61
本郷 和人	歴史はとても面白い！《日本史の法則》	60	17	77
沢田 千秋	国立音楽大学楽器学史料館 見学会	22	配信 無し	22
加納 民夫	レクチャーコンサート	127	配信 無し	127
合計		333	57	390

2. ランチタイムコンサート（場所：小山台会館）

月	出演者名（コーディネーター）	演奏	来場者数 （概算）
4月	吉澤 萌依子 關 奈々子（沢田 千秋）	ヴァイオリン ピアノ	78
5月	上田 桃歌（沢田 千秋）	ピアノ	64
6月	島田 樹里 新井 千晶（沢田 千秋）	メゾソプラノ ピアノ	56
7月	竹内 麻美（沢田 千秋）	ピアノ	75
8月	お休み		0
9月	宮川 眞優美 中里 聖南（沢田 千秋）	ピアノ連弾	73
10月	須田 幸誠（沢田 千秋）	ピアノ	66
11月	松下 倫士 神足 有紀（沢田 千秋）	ソプラノ ピアノ	中止
特別講演	小山台高校 ブラスバンド班 （沢田 千秋）		173
1月	關 奈々子（沢田 千秋）	ピアノ	60
2月	都築 小百合（沢田 千秋）	ピアノ	79
3月	お休み		0
合計			724

3. 寺子屋小山台（場所：小山台会館）

	講師	内容	来場者 数合計
プレ	大澤 佳雄	受講生にのぞむこと	9
	藤井 浩行	「自分が源泉」というあり方	
1	矢ヶ崎 隆二郎	リーダーシップ論	8
2	北野 尚宏	国際貢献	8
3	川上 高志	日本の政治について	7
4	朝岡 聡	リーダーとしての伝え方	7
5	村山 勝彦	過去を学び未来を紡ぐ	6
6	朱 建榮	中国から見た日本	7
7	福川 伸次	これからの日本	5
8	受講生発表		6
合計			63

4. 中学校クラブ活動支援

活動内容	日付	参加者数
剣道技術講習会	12月8日	78
ソフトテニス技術講習会	3月29日	25
打楽器講習会	2月9日	226
茶道お点前教室	6月8日	30
合計	4回	359

5. 暮らしに役立つ講座（場所：小山台会館）

	講座名	講師	来場者数 会場	来場者数 会場	来場者数 WEB
1	暮らしに役立つ税金の話：資産税編	税理士 原田 文香	21	15	36
2	暮らしに役立つ税金の話：所得税編	税理士 原田 文香	15	8	23
3	遺言書作成にも想像力が必用です	社労士・行政書士 喜多村郁子	26	6	32
合計			62	29	91

IV. 学校教育事業

分類	事業名
進路指導・学力向上助成	キャリア教育推進
	小論文特別講習
	2 学年勉強合宿
	大学入試過去問題集
	進路指導用資料
	理科講義実験
学校行事・班活動補助	合唱コンクール
	運動会物品購入
	運動会団席設置
	運動会医師等謝礼
	マラソン大会

	夏季合宿コーチ経費助成
	施設賠償責任保険
	ブラスバンド班演奏会
	保健室生徒対応補助
	新型コロナ対策費
学校広報助成	学校案内パンフレット作成費
	学校案内ポスター作成費
	学校説明会関連消耗品等
定時制	実習教材援助
	学校行事助成費
	生徒褒賞費
	班活動助成費
	学習・生活相談支援

V. 海外派遣ネットワーク（相互扶助等事業）

1. 国際的相互交流活動

該当なし。

2. 会員向け相互交流活動

行事	開催日	内容	参加人数
レクリエーション (OB 交流)	4 月 13 日(土)	国際交流事業に関わりのある OB、現役生の交流会。パートナー、子供連れで参加できるような親子向け企画を実施した。	18 名
夏祭り in 財団	8 月 24 日(土)	子供を持つ派遣 OB が参加し易い行事を通じて幅広い世代の懇親を図る。	42 名（社会人 BRANCH 14 名、 BRANCH 20 名、同 家族 8 名）
社会人 BRANCH 大同 窓会	12 月 15 日 (日)	過去の派遣参加経験のある社会人、国際交流事業に関わりのある OB、現役生の交流会	46 名
社会人 BRANCH 交流 会	2 月 15 日(土)	交換交流受入れ等に活用可能な日本文化（餅つき）を通じて BRANCH 内の交流を図る。	29 名

3. 会員及び当財団役職員等への情報提供

該当なし。

VI. 会館運営事業

会館利用状況

名	収容人数	年間利用件数
203 会議室	20	200
204 会議室	20	318
205 会議室	55	327
207 音楽室	45	347
301 会議室	8	187
302 会議室	8	192
303 中ホール	50	213
304 大ホール	130	504
B01 談話室	40	191
10A 多目的ホール	—	20
合計	376	2,499

以上